

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
現代社会	2単位(全類)	1年・全類	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
		高校現代社会 (実教出版)	随時プリントを用意

科目の到達目標

民主政治や日本国憲法、日本の政治機構について理解を深め、良識ある公民としての必要な能力と態度を育てる。

評価の観点と方法について

各単元目標が理解できているかどうかを中心に年間3回の定期考査を実施し、必要に応じて課題を出して提出させる。評価については、定期考査に加えて、授業中の発問や作業への取り組み方などから態度・興味・関心・意欲・集中力を評価として加え、総合的に判断する。

	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4 ○現代の国家と民主政治	民主政治の原理について、歴史的経緯も合わせて理解させる。	① 人権保障の発展と現代社会 ② 国民主権と民主政治の発展	授業中の関心・意欲・態度
	5 ○日本国憲法と国民生活	日本国憲法の成立過程とその性格・特徴を理解させる。また、新しい人権や今日の防衛問題についても考察する。	① 日本国憲法の成立 ② 平和主義と日本の安全 ③ 基本的人権の保障 ④ 人権の広がり	
	6 7	日本の政治機構について理解を深め、実情と課題について考察する。	⑤ 政治機構と国民生活 ⑥ 人権保障と裁判所	ノート提出 期末考査

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	○ 国際政治の動向	国際政治についての理解を深め, 国際化の進行の中での日本の役割と課題を考える。	⑦ 地方自治	授業中の関心・意欲・態度
	10			⑧ 選挙と政党	
				⑨ 政治参加と世論	
	11			① 国際社会における政治と法	
12	② 国家安全保障と国際連合	ノート提出 期末試験			
	③ 冷戦期の脅威と冷戦後の脅威				
三 学 期	1	○ 青年期と自己形成	自らのあり方・生き方について主体的に考えさせる。その導入として、できるだけ生徒の身近なところから題材を見つける。	④ 軍備競争と軍備縮小	授業中の関心・意欲・態度
	2			⑤ 異なる人種・民族との共存	
				⑥ 国際社会と日本	
3	① 青年期とは	ノート提出 期末試験			
① 自己形成の課題					

その他（履修上の留意点・大学進学等のための学習など）

- ・ 期末考査のみの実施である。
- ・ 大学入試共通テストの受験等については個別に対応する。